

わが国及び諸外国における 英国等長期滞在経験者の供血停止措置

実施国	実施機関 【 】内は実施措置	供血停止 実施時期	供血停止対象 とする滞在国	供血停止対象とする 滞在時期及び期間	供血者 減少	関連文書(○)および関連情報
日本	厚生労働省 日本赤十字社	2000. 2. 1	英国 (UK)	1980年～1996年 通算6ヶ月以上	0.05%	○2000. 1. 13 厚生省医薬安全局血液対策課長通知 医薬血第6号 ◇該当献血者数: 全国240人(2000年10月)×12ヶ月=全国2,900人
		2001. 3. 31	英国 (UK) アイルランド スイス スペイン ドイツ フランス ポルトガル	1980年以降 通算6ヶ月以上	0.1%	○2001. 2. 6 厚生労働省薬事・食品衛生審議会血液事業部会安全技術調査会 ○2001. 3. 1 厚生労働省薬事・食品衛生審議会血液事業部会安全技術調査会 ○2001. 3. 14 厚生労働省医薬局血液対策課長通知 医薬血第9号
		2001. 11. 30	英国 (UK) アイルランド スイス スペイン ドイツ フランス ポルトガル イタリア オランダ ベルギー	1980年以降 通算6ヶ月以上	0.1%	○2001. 10. 22 厚生労働省薬事・食品衛生審議会血液事業部会安全技術調査会 ○2001. 11. 16 厚生労働省医薬局血液対策課長通知 医薬血第62号

平成15年3月作成

実施国	実施機関 【 】内は実施措置	供血停止 実施時期	供血停止対象 とする滞在国	供血停止対象とする 滞在時期及び期間	も じ 減少	関連文書(○)および関連情報(◇)	
米国	食品医薬局 (FDA) 【1999. 8. 17&1999. 11. 11 ガ イダンス発行】	2000. 4. 17 までの可能な 限り早期に	英国 (UK) *0	1980. 1. 1~1996. 12. 31 通算 6 ヶ月以上	2. 2%	○1999. 6. 3 海綿状脳症諮問委員会 (TSEAC) Meeting Transcripts ○1999. 8. 17 FDA Guidance for Industry ○1999. 11. 11 FDA Guidance for Industry ◇1980 年以降、英国由来ウシ・インスリン投与を受けた人も対象	
	FDA 【2001. 8. 29 ガイダンス (案) 提示】 【2002. 1. 9 最終ガイダンス 発行】	2002. 5. 31 までに (第1段階)	英国 (UK) *1	1980 年~1996 年 通算 3 ヶ月以上			○2001. 8. 29 FDA Guidance for Industry ○2002. 1. 9 FDA Guidance for Industry ◇1980 年以降、英国 (UK) で全血もしくは成分輸血を受けた人も供 血禁止対象 ◇1980 年以降、英国由来ウシ・インスリン投与を受けた人も対象
			フランス	1980 年以降 通算 5 年以上			
			ドイツ、英国 (UK)、ベル ギー、オランダ (米軍基地限定)	1980 年~1990 年 通算 6 ヶ月以上			
			ギリシャ、トルコ、スペイ ン、ポルトガル、イタリア (米軍基地限定)	1980 年~1996 年 通算 6 ヶ月以上			
		2002. 10. 31 までに (第2段階)	欧州*2	1980 年以降 通算 5 年以上			◇第2段階の欧州全域対象措置は全血・成分製剤・原料白血球供血 者に限定 (ソース・プラズマ提供者は対象外)
	米国赤十字血液サービス (ARCBS)	2000. 3. 6	英国 (UK) *0	1980 年~1996 年 通算 6 ヶ月以上	2. 2%		○2000. 3. 6 ARCBS News
		2001. 10. 15 (当初予定 2001. 9 月中 旬)	英国 (UK) *1	1980 年以降 通算 3 ヶ月以上	4%		○2001. 6. 28 ARCBS News ◇1980 年以降、英国 (UK) で輸血を受けた人も供血禁止対象 ◇理論的リスク 85%減少 ○2001. 10. 12 ARCBS News ◇供血停止基準強化を延期 ○2001. 10. 5 AABB Weekly Report ○2001. 10. 25 Statement of ARC
			欧州	1980 年以降 通算 6 ヶ月以上			
		2003. 5. 15 までに (当初予定 2002. 11. 2)	英国 (UK) *1	1980 年~1996 年 通算 3 ヶ月以上			○2002. 6. 27 海綿状脳症諮問委員会 (TSEAC) Meeting slide ○2002. 6. 28 ABB Weekly Report ○2002. 6. 28 ABC Newsletter ◇供血停止基準変更を延期 ○2002. 11. 14 調査機関問合せに対するの ARC Dr. Reik 返答
			欧州	1980 年以降 通算 6 ヶ月以上			
		国防総省 (DoD)	2001. 10. 29 (当初予定 2001. 9. 14)	英国 (UK)	1980 年~1996 年 通算 3 ヶ月以上		
欧州	1980 年~1996 年 通算 6 ヶ月以上 (DoD 関係者) 1980 年以降 (DoD 職員は 1997. 1. 1 以降) 通算 5 年以上						

*0 UK: イングランド、北アイルランド、スコットランド、ウェールズ、マン諸島、チャンネル諸島

*1 UK: イングランド、北アイルランド、スコットランド、ウェールズ、マン諸島、チャンネル諸島、ジブラルタル、フォークランド諸島

*2 欧州: アルバニア、オーストリア、ベルギー、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、クロアチア、チェコ共和国、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイルランド共和国、イタリア、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、マケドニア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロヴェキア共和国、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、英国 (UK)、ユーゴスラヴィア共和国

実施国	実施機関 【 】内は実施措置	供血停止 実施時期	供血停止対象 とする滞在国	供血停止対象とする 滞在時期及び期間	も 皆 減少	関連文書(○)および関連情報	
カナダ	連邦保健省 【1999. 8. 17 指令発行】	指令発行日から 6 ヶ月以 内の可能な限り早期に (2000. 2. 17 までに)	英国 (UK) * ³	1980 年～1996 年 通算 6 ヶ月以上		○1999. 8. 17 Health Canada Directive D99-01 ○1999. 8. 17 Health Canada Directive D99-02 ○1999. 8. 17 Health Canada News Release	
	連邦保健省 【2000. 8. 30 指令発行】	指令発行日から 3 ヶ月以 内の可能な限り早期に (2001. 11. 30 までに)	フランス	1980 年～1996 年 通算 6 ヶ月以上		○2000. 8. 30 Health Canada Directive D2000-01 ○2000. 8. 30 Health Canada News Release ◇カナダ以外の製造者にも同様の措置を要請 (ただし、request で あり、required ではない) ◇英国及びフランス滞在期間を合算せず ◇2 つの directive により理論的リスクは 72%減少	
	連邦保健省 【2001. 8. 30 指令発行】	指令発行日から 3 ヶ月以 内の可能な限り早期に (2001. 11. 30 までに)	英国 (UK) * ³ フランス	1980 年～1996 年 通算 3 ヶ月以上	3%	○2001. 8. 30 Health Canada Directive ○2001. 8. 30 Health Canada News Release ◇1980 年以降、英国 (UK) で輸血を受けた人も供血禁止対象 ◇英国及びフランス滞在期間を合算せず ◇西欧諸国の滞在期間は合算する ◇理論的リスク 88-90%減少	
			西欧諸国* ⁴	1980 年以降 通算 5 年以上			
	カナダ血液サービス (CBS)	1999. 9. 30		英国 (UK) * ³	1980 年以降 通算 6 ヶ月以上	3% (2 万単位)	○1999. 8. 17. CBS News Release
		2000. 10. 30		フランス	1980 年以降 通算 6 ヶ月以上	0. 5%	○2000. 8. 31 CBS News Release
		2001. 10. 1 (当初予定 2001. 9. 17)		英国 (UK) * ³ フランス	1980 年以降 通算 3 ヶ月以上	3%	○2001. 8. 30 CBS News Release ○CBS Deferral Policies for vCJD(2001. 09. 23 last updated) ◇1980 年以降、英国 (UK) で輸血を受けた人も供血禁止対象
			西欧諸国* ⁴	1980 年以降 通算 5 年以上			
	ヘマ・ケベック (H-Q)	1999. 9. 30		英国 (UK) * ³	1980 年以降 通算 1 ヶ月以上	3%	○2000. 5. 18 Dr. Chiavetta (CBS) Report
		2000. 10. 30		フランス	1980 年～1996 年 通算 6 ヶ月以上	3%	○2000. 8. 31 H-Q News Release
		2001. 10. 1		フランス	1980 年以降 通算 3 ヶ月以上	3%	○2001. 8. 30 H-Q News Release ○H-Q selection process-exclusion ◇英国滞在期間については通算 1 ヶ月 (従来措置を維持) ◇1980 年以降、英国 (UK) で輸血を受けた人も供血禁止対象
			西欧諸国* ⁴	1980 年以降 通算 6 ヶ月以上			

*3 フランス： 欧州大陸以外のフランス領は対象外

*4 西欧諸国： ドイツ、イタリア、オランダ、スイス、オーストリア、ベルギー、スペイン、アイルランド共和国、ポルトガル、デンマーク、ルクセンブルク、リヒテンシュタイン

実施国	実施機関 【 】内は実施措置	供血停止 実施時期	供血停止対象 とする滞在国	供血停止対象とする 滞在時期及び期間	も 量 減少	関連文書(○)および関連情報
オーストラリア	連邦保健高齢者対策省 (MHAC)		英国 (UK)	1980年～1996年 通算6ヶ月以上	5.5% (25,000人)	○2000.9.21 MHAC Media Release ○2000.9.22 AABW Weekly Report
	オーストラリア赤十字血液サービス (ARCBS)	2000.12.21	英国 (UK)	1980.1.1～1996.12.31 通算6ヶ月以上		○ARCBS Web site/Donor Questionnaire
ニュージーランド	保健省 (MH)	2000.2.17	英国 (UK)	1980年～1996年 通算6ヶ月以上	10% (1.2万人)	○1999.11.18 MH Media Release
ドイツ	パウル・エーリッヒ研究所 (PEI)	2000.12月	英国 (UK)	1980年～1996年 通算6ヶ月以上	0.2%	○2000.11.14 RKI/PEI Pressemitteilungen ○2000.11.30 PEI Übersichtsartikel ○2001.11.15 世界血友病連盟 (WFH) Task Force on TSEs
フランス	雇用連帯省(保健人道活動担当省) (MES)	2000.12月	英国 (UK) アイルランド	1980年～1996年 通算1年以上	0.7%	○2000.12.19 MES Presse ○2000.12.19 フランス医療製品保健衛生安全公社 (AFSSaPS) communique presse ○2000.12.22/29 ABC Newsletter ◇1980年以降、英国 (UK) で輸血を受けた人も供血禁止対象 ○2001.11.15 世界血友病連盟 (WFH) Task Force on TSEs
イタリア		2000.11月	英国 (UK)	1980年～1996年 通算6ヶ月以上		○2000.12.1 AABW Weekly Report ◇5年前に遡って英国 (UK) で輸血を受けた人も供血禁止対象 ○2001.11.15 世界血友病連盟 (WFH) Task Force on TSEs
オーストリア		1999.11月	英国 (UK)	1980年～1996年? 通算6ヶ月以上		○2000.2月 AFSSaPS/フランス血液機構 (EFS) Expert group report ◇分画用原料血漿ドナーに適用せず ○2001.11.15 世界血友病連盟 (WFH) Task Force on TSEs
スペイン	スペイン赤十字	2001.4.1	英国 (UK)	1980年～1996年 通算1年以上		○2001.1.19 ABC Newsletter ○2001.7.6 ABC Newsletter ◇2001.11.15 世界血友病連盟 (WFH) Task Force on TSEs
スイス	スイス赤十字	2000.4.1	英国 (UK)	1980年～1996年? 通算6ヶ月以上		○2000.11.10 ABC Newsletter ○2001.11.15 世界血友病連盟 (WFH) Task Force on TSEs
フィンランド	フィンランド赤十字	2001.4.1	英国 (UK)	1980年～1996年 通算6ヶ月以上	1%以下	○2001.2.2 ABC Newsletter ○2001.1.29 Ananova News ○2001.11.15 世界血友病連盟 (WFH) Task Force on TSEs
アイルランド	アイルランド輸血サービス (IBTS)	2001.4.1	英国 (UK)	1980.1.1～1996.12.31 通算 5年以上	12% (2万人)	○2001.3.14 IBTS Press Release ◇2001年 年9月から通算1年以上に拡大 (予定) ○2001.10.10 IBTS Press Release ◇滞在期間、通算1年以上への拡大措置を延期 ◇2001.11.15 世界血友病連盟 (WFH) Task Force on TSEs
香港		検討中 (一部実施?)	英国 (UK)	1980年～1996年 ?		○2000.12.1 AABW Weekly Report ○2001.1.31 Ananova News
タイ	タイ赤十字	不詳	欧州	1980年以降 通算6ヶ月以上		○2001.2.9 Ananova News ○2001.7.19 Ananova News

(2002.11.14 (財)血液製剤調査機構調べ)

自国の献血血液の血液製剤への使用状況

国名	自国の献血血液の使用* ¹		確認されている発症数	
	輸血用血液製剤	血漿分画製剤	BSE (ウシ) * ²	vCJD (ヒト) * ³
オーストリア	○	○	1	0
ベルギー	○	○	106	0
デンマーク	○	○	10	0
フィンランド	○	○	1	0
フランス	○	○	754	6
ドイツ	○	○	244	0
ギリシャ	○	○	1	0
アイルランド	○	○	1,199	1* ⁴
イタリア	○	○	88	1
ルクセンブルグ	○	○	2	0
オランダ	○	○	56	0
ポルトガル	○	○	725	0
スペイン	○	○	244	0
スウェーデン	○	○	0	0
英国	○	×	182,802	132* ⁵
スイス	○	○	432	0
ノルウェー	○	○	0	0
カナダ	○	○	0	1* ⁶
アメリカ	○	○	0	1* ⁷
オーストラリア	○	○	0	0
ニュージーランド	○	○	0	0
日本	○	○	7	0

* 1 : PPTA (血漿蛋白製剤協会) 資料より作成、* 2 : 国際獣疫事務局資料より作成

* 3 : 健康局疾病対策課調査結果より作成、* 4 : 英国滞在歴あり、* 5 : 中国 (香港) 例含む

* 6 : 英国滞在歴あり、* 7 : 在米英国人